ASIAGAP普及拡大支援事業の成果紹介

「GAPアップデートフォーラム」

一般財団法人 日本GAP協会
普及推進マネージャー
佐藤　仁

2021年2月26日

目　　次

１．ASIAGAP 2.3版について

２．ASIAGAP普及拡大支援事業の内容

３．E-learningシステムの構築、活用

４．普及資料成果物について

５．輸出アンケート

６．GAPマーケティング調査

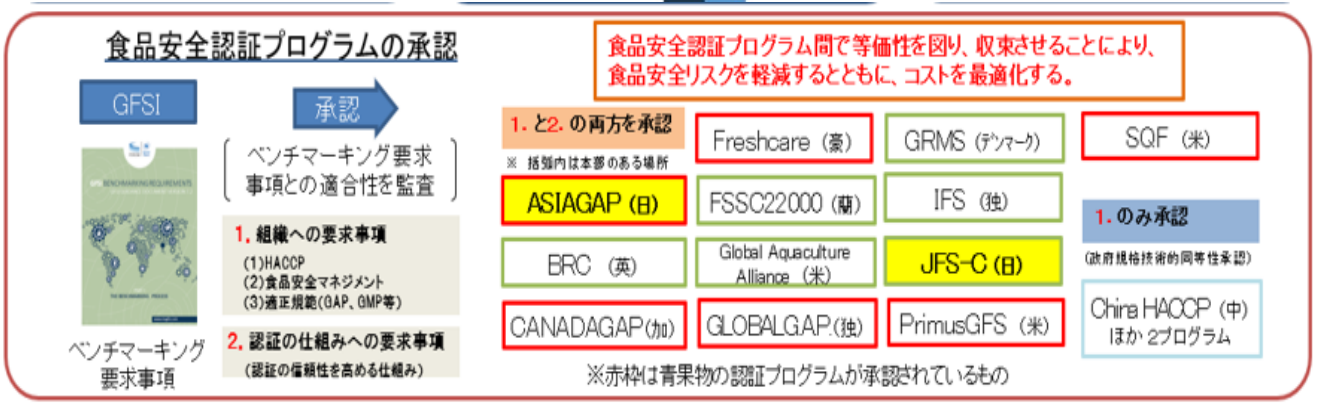
７．　今後のマーケティング戦略(入口）

ASIAGAP2.3版(日本発の初めての国際GAP認証）

＜ASIAGAPのポイント＞

- GFSI承認の国際水準規格として展開していく認証プログラム。
- アジア共通のGAPのプラットフォームとなることを目指し、「ASIAGAP」とした。

GFSI : Global Food Safety Initiative



「ASIAGAP普及拡大支援事業」の内容

1．目的　　日本発ASIAGAPをアジアで主流の仕組みにし、国際的な価値を高め
アジア等への輸出拡大を図る　⇒　ゆえにASIAGAPとネーミングした

2．事業内容　＊E-ラーニングシステムの構築
＊ASIAGAP基準書等の成果物の利用公開
＊輸出アンケートの実施
＊現地調査の実施(ベトナム：顕著なGDP成長率、タイ：ASEANのハブ）
＊普及戦略の策定

3．成果目標　「ASIAGAP輸出経営体数」が10%以上拡大すること

E-learningシステムの構築 活用

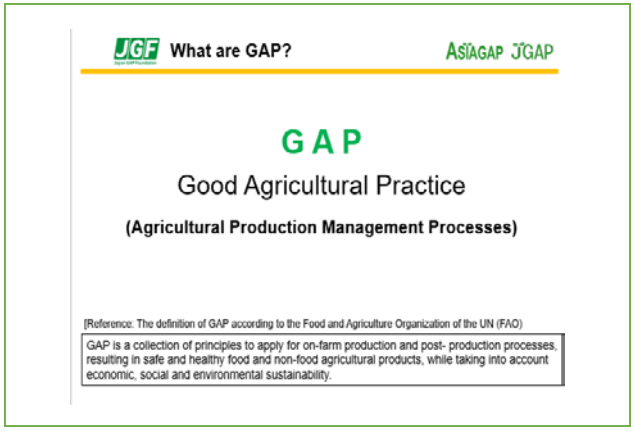
狙い）アジアにおけるASIAGAP認証を普及するために、ASIAGAP全般に関するE-learning教材を作成。
ASIAGAPに興味のある方の入門の手引き書となる

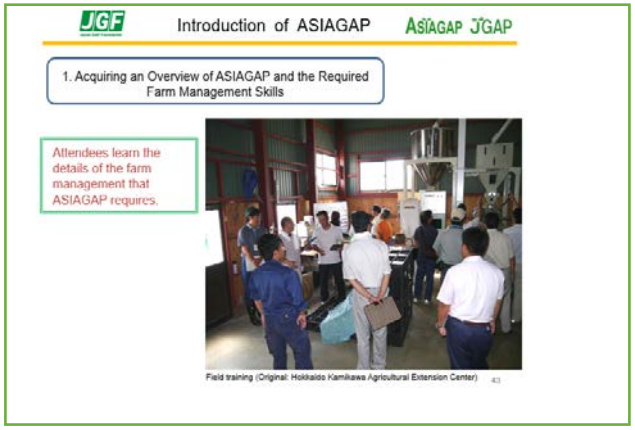
言語）英語および日本語(日本を除くアジア各国の日本人または外国人向け）

利用媒体) 日本GAP協会ウエブサイト

利用開始）2021年3月予定

E-learningシステムの構築 活用





普及資料としての新たな成果物の公開

新たに追加

ASIAGAP ver.2.3　ベトナム語　タイ語　中国語（繁体 簡体)

e-ラーニング　英語　日本語

アジア向けホームページの充実

輸出アンケート概要

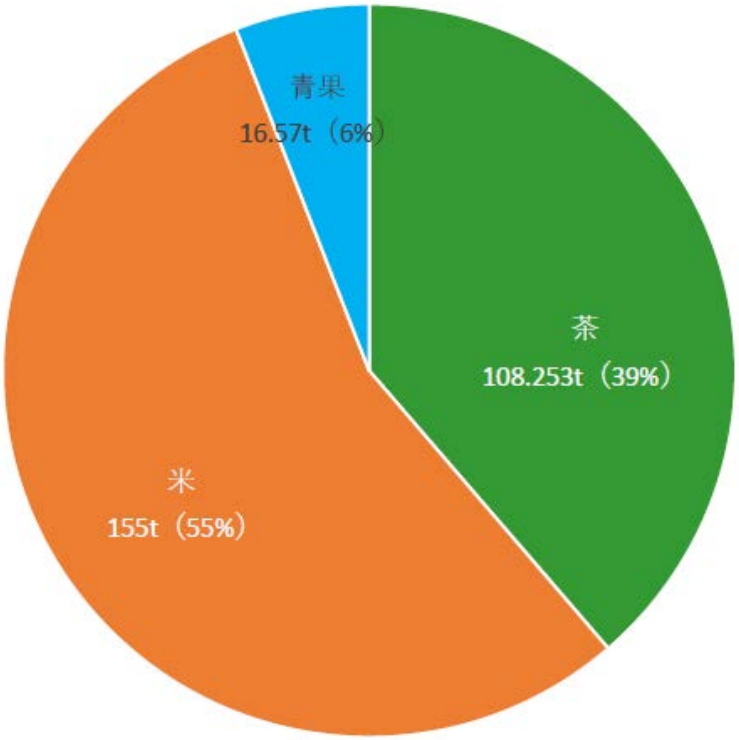
- ASIAGAP認証経営体350件およびJGAP認証経営体980件を対象に輸出実績にかかるアンケートを配布した。
- ASIAGAPに関して、100件の回答があり、うち輸出実績のあるのは15件であった。

認証経営体数・輸出実績のある認証経営体数

	ASIAGAP			JGAP		
	認証経営体数	回答経営体数	輸出実績のある認証経営体数	認証経営体数	回答経営体数	輸出実績のある認証経営体数
青果物	約350件	約100件	4件	約980件	約380件	20件
穀物			4件			10件
茶			7件			10件
合計	約350件	約100件	15件	約980件	約380件	40件

出所：日本GAP協会、第２回ASIAGAP普及拡大検討会配布資料

ASIAGAPカテゴリー別輸出実績割合(アンケート結果)



調査内容（調査ステップ）

- 以下のステップで本調査を実施した。

調査内容（インタビュー）

- 以下の12者にインタビューを実施した。

国	カテゴリー	事業概要
タイ	輸出業者	青果物等を日本からタイへ輸出している
	輸入・輸出業者	特殊コンテナを活用し、日本から青果物・果物をタイへ輸出している（タイで輸入を行う子会社向けに輸出）
	輸出業者	青果物・果物を日本からタイへ輸出している
	小売業者	グローバルに展開し、タイに複数拠点を有する大手スーパーマーケットである
	その他（ThaiGAP代表者）	ThaiGAPのオーナーである
ベトナム	小売業者	大手スーパーマーケットである
	小売業者	大手スーパーマーケットである
	輸入業者	日本製品全般を現地へ輸入している
	製造・輸出業者	現地でライム製品（エキス・パウダー・健康食品等）を生産・国内販売・海外へ輸出している
	輸入業者	日本製品全般を現地へ輸入している
	小売業者	大手スーパーマーケットである
	行政機関	VietGAPのオーナーである

調査結果

【現地流通業者の認知度】

- タイ・ベトナムのいずれも、ローカルGAPの水準で調達基準を設定している現地流通業者が多い。
  - **タイはQGAP、ベトナムはVietGAPで調達していることが多いとの回答があった。**
- タイ・ベトナムのいずれも、現状はまだ、GFSI承認スキームを要求していない。
- タイ・ベトナムのいずれも、そもそも日本産であれば、安心・安全であると判断されている。
  そのため、GAPは必須要素ではなく、付加的価値があると認識されている。
  - 特に青果物・果物については、高品質ではあるものの、現地の所得水準にあった価格帯でないこと、タイ・ベトナムで禁止されている農薬の使用などが懸念事項である。
- **現状、ASIAGAPの認知度は高くなく、今後さらに高められる余地がある。**
  - ASIAGAPの考え方に共感する現地流通業者も存在した。

（参考）現地におけるGAP表示状況（ベトナム）

VietGAP認証野菜（春菊）@Co.op mart（ハイフォン）

VietGAP認証果実（メロン）@Co.op mart（ハイフォン）

GLOBAL G.A.P.認証野菜（トマト）@Co.op mart（ハイフォン）

出所：現地スーパーで撮影

（参考）現地におけるGAP表示状況（ベトナム）

VietGAP認証野菜（もやし）
@Vinmart（ハノイ）

VietGAP・ GLOBAL G.A.P.認証果実（ハニーポメロ）
@Vinmart（ハノイ）

出所：現地スーパーで撮影

（参考）現地におけるGAP表示状況（タイ）

- タイスーパーでのGAP表示の写真

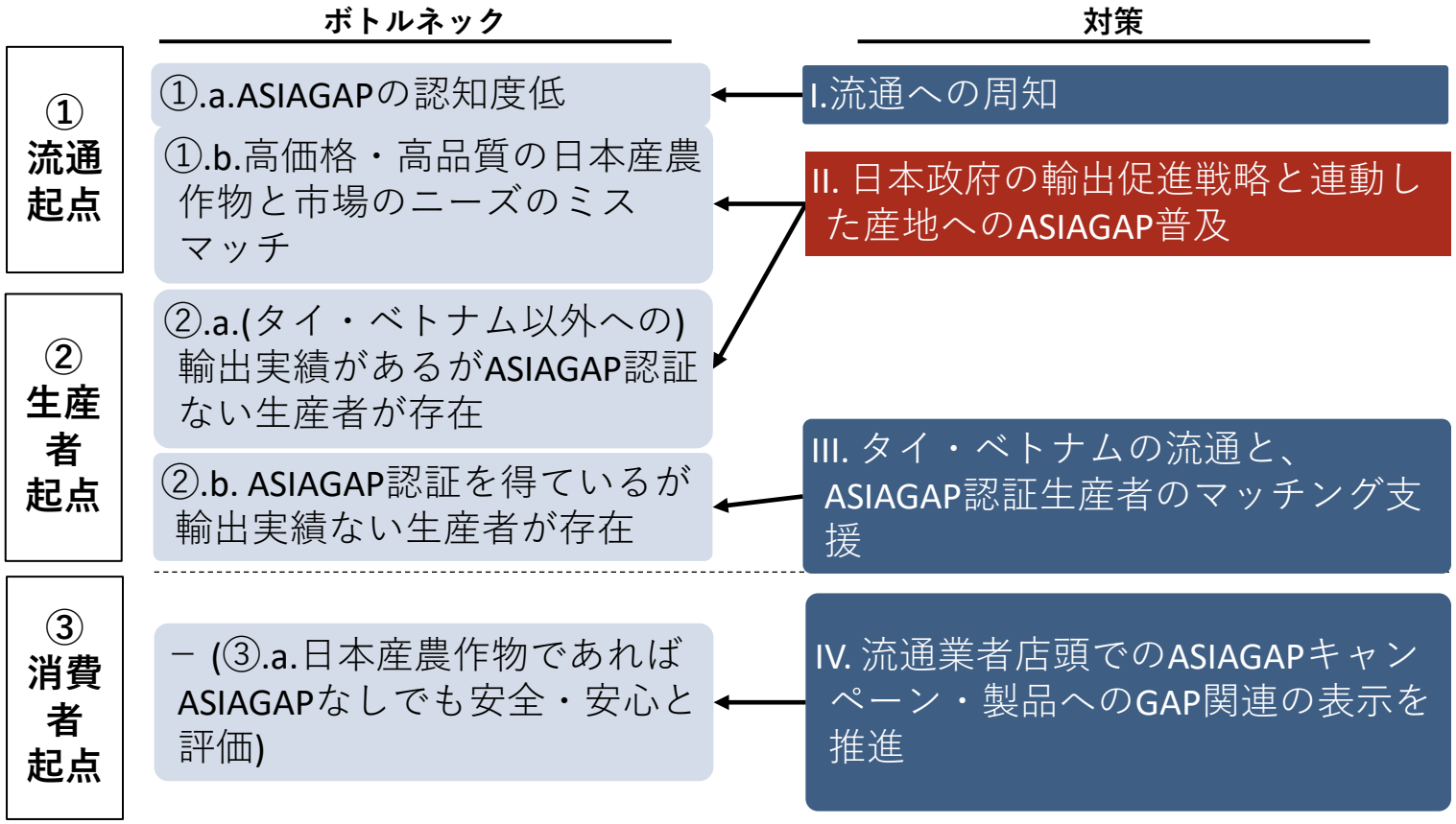
QGAP認証果実（メロン）

出所：現地スーパーで撮影

ThaiGAP認証農作物@Tesco Lotus

調査結果

- **ASIAGAP輸出経営体数増加に向けたボトルネックと対策は以下の通りである。**



調査結果

輸出拡大実行戦略のうち、タイ・ベトナムでの輸出促進を図る品目の例とその目標額・輸出実績

国	輸出促進を図る品目	2019年の日本からの輸出実績[A]	2025年の目標とする日本からの輸出額[B]	2019年から2025年の差分 (括弧内は増加分の19年実績比(=(B-A)/A))
タイ	果樹（いちご）	1.8億円	7.5億円	5.7億円 (317%) ↑
	果樹（ぶどう）	1.5億円	5.8億円	4.3億円 (287%) ↑
	野菜（かんしょ・かんしょ加工品・その他の野菜）	2.4億円	4.5億円	2.1億円 ↗
	果樹（かんきつ）	0.4億円*1	2.3億円*1	1.9億円*1 ↑
	果樹（もも）	0.6億円*2	1.9億円*2	1.3億円*2 ↑
	果樹（りんご）	4.5億円	5.5億円	1.0億円 ↗
ベトナム	果樹（ぶどう）	0.7億円*3	3.2億円*3	2.5億円*3 (357%) ↑
	果樹（りんご）	4.9億円*4	6.4億円*4	1.5億円*4 ↗

出所：農林水産物・食品の輸出拡大のための輸入国規制への対応等に関する関係閣僚会議（令和２年）、「農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略～マーケットイン輸出への転換のために～」

*1 米国、ニュージーランド等も含んだ数値
*2 マレーシア等も含んだ数値
*3 マカオ、マレーシア等も含んだ数値
*4 シンガポール、インドネシア等も含んだ数値

[凡例] ↑ 増加分の19年実績比(=(B-A)/Aが200%以上　↗ 増加分の19年実績比(=(B-A)/Aが200%未満

（参考）輸出拡大を図る品目およびASIAGAP普及促進の産地候補例（1/2）

図表　品目別の上位５都道府県別生産量（2017年～2019年平均値）およびASIAGAP/JGAP認証取得状況

品目		産地	都道府県別生産量*(トン)	GAP認証農業数
緑茶	1	静岡	140,167	JGAP: 1525、ASIAGAP: 973
	2	鹿児島	134,500	JGAP: 145、ASIAGAP: 495
	3	三重	29,267	JGAP: 46、ASIAGAP: 136
	4	宮崎	17,567	JGAP: 19、ASIAGAP: 16
	5	京都	13,700	JGAP: 5、ASIAGAP: 83

品目		産地	都道府県別生産量*(トン)	GAP認証農業数
米（水陸稲）	1	新潟	645,150	JGAP: 59、ASIAGAP: 16
	2	北海道	580,200	JGAP: 41、ASIAGAP: 24
	3	秋田	507,100	JGAP: 10、ASIAGAP: 1
	4	山形	390,450	JGAP: 5、ASIAGAP: 5
	5	茨城	355,600	JGAP: 12、ASIAGAP: 0

品目		産地	都道府県別生産量*(トン)	GAP認証農業数
いちご	1	栃木	25,133	JGAP: 3、ASIAGAP: 0
	2	福岡	16,900	JGAP: 0、ASIAGAP: 0
	3	熊本	11,500	JGAP: 1、ASIAGAP: 0
	4	静岡	10,667	JGAP: 11、ASIAGAP: 0
	5	長崎	10,343	JGAP: 1、ASIAGAP: 0

品目		産地	都道府県別生産量*(トン)	GAP認証農業数
ぶどう	1	山梨	40,633	JGAP: 5、ASIAGAP: 2
	2	長野	29,567	JGAP: 2、ASIAGAP: 1
	3	山形	16,400	JGAP: 0、ASIAGAP: 0
	4	岡山	15,933	JGAP: 0、ASIAGAP: 0
	5	福岡	7,733	JGAP: 0、ASIAGAP: 0

*品目別産地別生産量（2017年～2019年平均値）（トン）

（参考）輸出拡大を図る品目およびASIAGAP普及促進の産地候補例（2/2）

品目		産地	都道府県別生産量*(トン)	GAP認証農業数
かんしょ	1	鹿児島	273,767	JGAP: 11、ASIAGAP: 1
	2	茨城	172,200	JGAP: 33、ASIAGAP: 0
	3	千葉	98,233	JGAP: 5、ASIAGAP: 0
	4	宮崎	86,967	JGAP: 3、ASIAGAP: 0
	5	徳島	28,533	JGAP: 0、ASIAGAP: 0

品目		産地	都道府県別生産量*(トン)	GAP認証農業数
かんきつ	1	和歌山	152,133	JGAP: 0、ASIAGAP: 0
	2	愛媛	119,733	JGAP: 0、ASIAGAP: 1
	3	静岡	94,033	JGAP: 0、ASIAGAP: 0
	4	熊本	85,600	JGAP: 0、ASIAGAP: 23
	5	長崎	52,167	JGAP: 0、ASIAGAP: 0

品目		産地	都道府県別生産量*(トン)	GAP認証農業数
もも	1	山梨	36,433	JGAP: 5、ASIAGAP: 1
	2	福島	26,600	JGAP: 75、ASIAGAP: 3
	3	長野	13,233	JGAP: 0、ASIAGAP: 0
	4	山形	8,700	JGAP: 0、ASIAGAP: 0
	5	和歌山	8,233	JGAP: 0、ASIAGAP: 0

品目		産地	都道府県別生産量*(トン)	GAP認証農業数
りんご	1	青森	350,133	JGAP: 7、ASIAGAP: 0
	2	長野	120,333	JGAP: 2、ASIAGAP: 0
	3	岩手	35,967	JGAP: 0、ASIAGAP: 0
	4	山形	37,167	JGAP: 0、ASIAGAP: 0
	5	福島	23,200	JGAP: 72、ASIAGAP: 2

出所：政府統計の総合窓口ウェブサイトhttps://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&toukei=00500215&tstat=000001013427&month=0　および日本JGAP協会ウェブサイトhttps://jgap.jp/farm/search/　を基に作成（最終閲覧日：2021/2/1）

まとめ（今後のマーケティング戦略の入り口）

① 方針

- 日本政府が策定した2030年輸出5兆円目標の実現に向けた「農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略」と同じベクトルで、**産地等とASIAGAPが両輪となり**輸出を推進する。

連動 II. 日本政府の輸出促進戦略と連動した産地へのASIAGAP普及

② パートナー

- 国内生産者と海外流通業者を**マッチングする**ことを働きかける。

連動 III. タイ・ベトナムの流通と、ASIAGAP認証生産者のマッチング支援

まとめ（今後のマーケティング戦略の入り口）

③アクション

- 輸出重点品目別の産地候補を選定し、**新規にASIAGAPの取得**および**JGAPからASIAGAPへの移行の両睨み**でASIAGAP認証の輸出増加を支援する。

連動 IV. 流通業者店頭でのASIAGAPキャンペーン・製品へのGAP関連の表示を推進

  - ASIAGAPの取得による**輸出へのメリット**といった魅力点を対象産地にプロモーションし、ASIAGAPの普及を図る。

- **現地流通業者へ働きかけ、ASIAGAPに対する認知度を高める**。

連動 I.流通への周知

  - 継続的なASIAGAPの説明（E-learning等の提供）、現地語での基準書提供、インターネットを通じた**情報提供を行う。**
  - 現地流通・国内生産者向けのイベント等の開催を調整し、ASIAGAP単体ではなく、**日本産食品とASIAGAPを一体的に売り込む。**